

第5回 神戸便教会 活動報告

2016年1月16日(土)、第5回神戸便教会を西代中学校にて開催いたしました。今回は合計9名で3階の男子トイレを借りて活動しました。



(道具説明の様子)

(道具を並べています)



便教会に初めて参加される先生が1名、2回目の方が1名おられたので、挨拶のあとリーダーのK先生に丁寧に説明していただきました。K先生の説明は何度聞いても、わかりやすく学びがあります。道具の説明では、「道具を生かすことが生徒を生かすことにつながる」という『マインド』に気づかされます。何度も聞いて、知っているつもりでも毎回初心に戻らせてもらえます。話の中で、「汚れがひどいからと言って、硬いものでガリガリやってしまうと傷がつきます。ですから、柔らかいものから使っていきましょう。教師は生徒のためを思っていることでも『これだけしてやってる』と教師のひとりよがりになってしまうことがあります。そのとき、生徒は傷ついているかもしれませんね」と優しく語られるように話されていました。「道具を大切にする」「人と比べない」「しゃべらない」という3つの原則は、頭で理解するだけでなく、実際に便器に向き合ったときに肚に落としこまれます。参加者のみなさんもそれを実践の中で感じられているようでした。



さて、今回のトイレですが、本当に厳しい状態の汚れでした。1時間前にクエン酸につけておいたのですが、それでも尿石が張り付いている状態だったので、ナイロンたわしや、サンドメッシュでは落としきれませんでした。結局、スクレイパーやドライバーで削らなければならないほどの汚れでした。リーダーの先生が言われていましたが、少しでも傷つけないようにと工夫されており、注意深く道具を扱っておられました。

私はM先生と尿濃しを担当していましたが、トイレからは全く声が聞こえてきません。みなさん本当にひたすら向き合っていた「氣」を感じました。

掃除が終わり、振り返りの時間を持ちました。それぞれの方の感想です。

- 初めて参加しました。最初はどうなることかと思っていましたが、やっているうちに楽しくなってきました。気づいたことは、全体をきれいにするのではなく、一か所をきれいにした方がいいということです。



です。それは、仕事でも同じで、あれもこれもと手を付けるのではなく、目の前の一つ一つを丁寧に仕上げていくことが大切かなと思いました。



- 今回は2回目の参加でした。今日は仕事を社員に任せてこの会に参加させてもらいました。厳しい状況の便器だったのですが、傷つけてはいけないという思いで掃除しました。先生方は生徒に向き合いますが、私にとっては社員ということになります。社員に対する接し方を考える機会になりました。また、隣で若い女性の先生が一所懸命に掃除をされているのを見て感動しました。日本の未来は明るいと感じました。

- 自分の学校でないところの掃除をさせてもらうと、大変刺激になります。それぞれの方が思いを持って参加されているので、その話を聞かせてもらうだけで、元気がもらえます。今日は洋式の便器を担当しました。その蓋に傷がついていました。その中に入り込んだ汚れが取れませんでした。生徒も同じで傷つけてしまうとなかなか修復できないのかもしれない。自戒しないとイケませんね。また、水がとても冷たかったのですが、自分を強くするには、毎日この冷たい水で雑巾をしぼることと同じだと感じました。



- 現在は大学生として大学で勉強していて、なかなか便教会に参加できない状況でした。採用試験に合格し、来年度から先生として勤めることとなります。こうして便教会に参加させてもらうと、自分の気持ちが子どもたちに向き合える気がします。特に小便器の汚れに向き合われている方の真摯な姿から、いい場所に来させてもらっていると感じました。

- うまくいかないことがあると、私は中学校の先生として向いていないのではないかと考えてしまうことがあります。先日沖縄での鍵山教師塾に参加させてもらいました。バスで帰るときに、吹奏楽部の生徒たちが見送るために演奏してくれました。それも予定されていたことではなく、自然発生的にされていました。校長先生の取り組みで学校が変わることを目の当たりにしたとき、今の自分に与えられている役割が果たせていないのではないかと感じました。

今日は尿濃しを担当しました。尿濃しの角が割れてえぐれていました。そこに手をついたとき痛みを感じました。尿濃しは自分から割れたわけではありません。誰かが割ったのです。尿濃しは傷つけられても黙ってその場にいます。そして

そこに汚れがたまり、私のように人を傷つけてしまうこともあります。生徒も同じだと感じました。傷つきたくて傷ついたわけではありません。しかも、傷つけられた生徒は黙っています。傷つけられてとがっているかもしれません。そして、そのとがったところを見て、悪いやつだと思ってしまうこともあります。その傷に触れた人も傷つくこともあるかもしれません。そんなことを考えながら掃除しました。

○ 「行動が人を育てる」ということを、以前の便教会で感じたことがありました。この1か月はそのことばかり考えていました。生徒に対しても言うだけではなくて、行動が大切なのだと感じました。



○ 昨日の仕事が終わったのは、夜中の12時を回っていました。でも、この便教会があったからこそ心がリセットされた気がします。今回は同じ学校の先生が参加されたことがとてもよかったです。私も同じ学校の先生が参加されたことで心強いです。一人で何かするより、二人なら心強いです。三人いれば学校が変わるのではないかと考えています。そういう先生の行動する姿が生徒に映って、生徒は感化されるのではないのでしょうか。

○ 明日は1・17です。その前日来させてもらってよかったです。最近「評価」ということが気になっています。今日の掃除でも、便器に向き合ってお互いを感じたことを話し合っ、さらにその話から気づくこの「振り返り」が大



切なのではないのでしょうか。

私の勤めている小学校では、「黙々清掃」をしています。子どもは黙って掃除をしていますが、1年生が掃除を一所懸命にしていたり、6年生がさりげなくサポートしていたりする姿を目の当たりにしています。その中で子どもはいろいろ考えています。しかし、先生は指導がしたくて仕方がないんですね。先生が指導すれば早くきれいにできるのですが、そのことが本来私たちが求める生徒の姿なのか気になります。準備と片付けは教師が、中身は子どもではないかと思えます。子どもがいろいろなことをする中で、



自身が気づいたり考えたりすることが、将来大人になったときに生きてくるのではないのでしょうか。子どもがじっくり考えたり、気づいたりすることは見えないし、評



(消しゴムを使って)

働することが難しいです。掃除のマインドはそんな大切なことにつながるような気がします。



(記念撮影)

今回初めて参加していただいた先生にレポートを送っていただきました。最後に紹介させていただきます。

便教会に参加して

20代 I・M

今回、初めて活動に参加させていただき、掃除や参加された先生方との交流からたくさんのことを学ばせていただきました。「掃除」というと、「きれいにする方法」という意味でとらえがちですが、今日一日で掃除に対する考えが大きく変わったように思います。今回はその中でも特に印象に残ったことを3つ書かせていただきます。

ひとつめ。まず、掃除するにあたって教えていただいたことは、道具を大切に扱うこと、自分の取り組みにまっすぐ向き合うことでした。きちんと並べられた道具を見ると、より一層、丁寧に扱わなければと感じました。また、相手が人であっても物であっても正対して向き合うことで、自分の行動に覚悟が決まるように感じられました。このことから、物事を始める最初の一步の姿勢がどのようなものであるかで、その取り組みに対する覚悟というものが大きく変化するのだということを実感しました。学校の活動においても、生徒たちは日々新たなことに取り組んでいくわけですが、その第一歩をきちんと踏み出せるように活動の方向付けをきちんと教師がすることで生徒への入り方が大きく変化するのだと考えさせられました。

ふたつめ。今回担当させていただいた便器はなかなか一筋縄ではいかない相手でした。そんな相手を前にして、私は全体をきれいにしようとしてあちらこちらの汚れを手当たり次第に落とそうとしていました。しかし、気にかけてくれていた先生に「ここ、と決めたところからきちんと落とすのと良い。」というアドバイスをいただきました。私は、一回では終わられない量の相手ならば、範囲を決めてそこだけはきちんと取り組み、次回はまた別の範囲をすればいい、という気持ちで少しずつでも進めることが大切なのだ、ということをおっしゃっていると解釈し、はっとさせられました。日々のたくさんの仕事の中でどこから手を付けてよいかわからず、あちこちに手を伸ばして時間を空費していた自分の取り組みを見直させる一言でした。一か所だけでもきれいになったことで、達成感が得られ、次への意欲につながるのと同じように、1つ1つのやるべきことを完成させることで、次への意欲につながるのだと感じました。

みつめは、一回の掃除で人間は大きく変わらない、ということです。今回活動に参加したことで、私の中の意識は変わりました。しかし、私の意識は便器と同じです。一度きれいにしても、日がたち、いろいろなことを受け止めていくともとの状態に戻って行ってしまいます。だからこそ、続けて取り組まなくてはならないと感じ

ました。一度の活動で満足せず、繰り返し行われている方々を見習い、これからも、意識的に自分の気持ちをきれいな状態にリセットするつもりで掃除に取り組んでいきたいと思いました。

最後になりましたが、参加のきっかけをくださった先生、掃除の心構えを教えてくださいました先生、ともに掃除に励み、交流から様々なことを気付かせていただいた先生方、本当にありがとうございました。